

視察研修報告

先進地に学ぶ

長野県下伊那郡高森町・松川町、岐阜県多治見市・中津川市の4カ所を視察
平成29年11月13日～14日、参加議員：1日目11人、2日目8人

町民皆で子育て (オール高森)

下伊那郡高森町

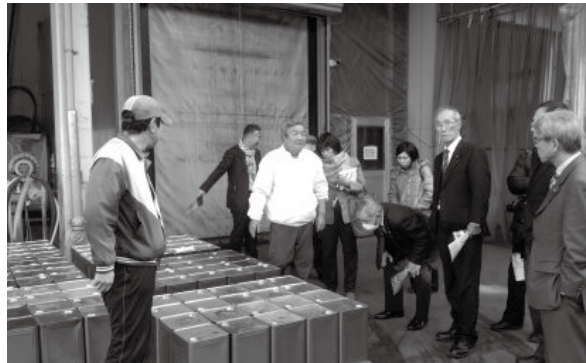
庁内各課が横断的に連携し、「子育て応援ガイド」(子育て・教育応援事業及び支援サービスのまとめ)を冊子にし、全世帯に配布している。町の子育て支援体制を住民みんなに知ってもらう目的のためだ。町民目線の計画づくり、資料づくり。これを自分たちの手で作り上げる役場職員の資質が素晴らしい。また建設課や環境水道課などの、子育てと無縁に思える課も含めて子育て支援を掲げ、全庁体制をアピールしている。子どもに対する手厚い投資は、これからのまちづくり施策の基本だと感じた。また平成30年春には、女性活躍子ども子育て拠点施設を開設する予定。女性の就業支援が重要と考え、本格的に取り組む体制も参考にしたい。



「子どもが健やかに生き生きと育つまち」
施設内では、施設と地域で交流し子育ても応援している。

6次産業化の取り組み

下伊那郡松川町・なかひら農園



地域特産のりんごを主軸として、生産のほか自社で加工・販売・観光農園を行っている。大手販売会社の受注生産で百貨店やスーパー、飲食店にも流通している。さらに、農業の人材不足に対応するため「南信州りんご大学院」を開設し、りんご生産技術を学びたい人に賃金を支払いながら、技術を教え独立までの支援に取り組んでいる。「究極のりんご果汁をつくりたい」「地域に農業者を増やしたい」という自分たちの理念をしっかりと持っていることも印象的であった。

開かれた議会を目指して

岐阜県多治見市議会

第11回マニフェスト大賞優秀成果賞を受賞された。平成22年4月という比較的早い時期に制定した議会基本条例にのっとり、自由討議、議員提案条例の制定、反問権、住民との対話集会などを積極的に取り入れている。

議会基本条例の実践もさることながら、市の総合計画策定に向けて「1議員1提案」を行うことにより議員力や議会力が上がり、行政のチェックが機能していると感じた。しかし、このような議会活動、議会改革について、議員の意識については全員揃っているわけではないのが課題で、どこの議会も同じと感じた。



我が議会でも検証の仕組みや情報の発信など、始まったばかりの議会基本条例に伴う取り組みを整理し、さらに充実した議会活動ができるよう取り組みたい。

特産品開発と雇用を 生む地域連携

岐阜県中津川市・ちこり村



(株)サラダコスモが運営している、2006年12月にオープンした施設。「地元の元気はちこり村の元気」をモットーに、60歳以上を雇用すること、安心安全なオーガニック栽培のちこりを軸としてこの地域の代表的な商品を組み合わせ販売。栽培施設見学も実施。レストラン部門では年商1億円を達成するまでになっている。岐阜県が進める地域産業としての1村1企業・パートナーシップ運動にも認定されている。特産品とは、官民挙げて知恵を絞る本気のやる気と工夫、続ける熱意で生み出すものだと感じた。